



自学・自治・自愛

No. 5 令和 4年 6月 7日(火) 有田市立保田中学校 井上 寿子

微內意見發發金(少距於今色一勢)

グ酒井陽色さん 「僕の家のこと」 白川芽依さん 「「もし」から言葉を考える」 江川朋花さん 「誰もが生きやすい社会」 石井廉基さん 「言葉の重さと責任」 丸畑綾香さん 「手を取り合って」

佐原希咲さん 「私たちはなぜ学校で学ぶのか」

先週、校内意見発表会を行いました。各学級の代表の6名が、それぞれの少年メッセージを発表しました。

この校内意見発表会は保田中学校の伝統行事で、 少なくとも30年以上続いています。昨年はリモートで行いましたが、今年は2年ぶりに全校生徒が体育館に入って、対面で発表を行いました。

発表者6人のテーマがバラエティーに富んでいて、それぞれの着眼点に感心しました。おうちの仕事と働くことの意義、言葉の使い方や言葉の持つ意味から生活や自分を振り返る、戦争や LGBTといった世界的に共通するような今日的課題、そして学校・学ぶ意味・人との関わりなど中学生なら誰でも1度は考えたことがあるような課題について、自分の考えを堂々と述べました。文章を書くだけでなく、発表の練習にも随分と時間をかけて練習したことでしょう。審査をしてくださった学校運営教委会の委員さん方も、発表内容や態度を褒めてくださるとともに、自分たちにも学びがあったと言ってくださいました。

発表者の皆さんの頑張りはもちろんですが、司 会進行、はじめや終わりの挨拶など手際よく運営 してくれました。また、全校生徒の聞く態度も大 変素晴らしいものでした。生徒の皆さん一人一人 の場に応じた態度や役割を果たすことで一層素晴 らしい意見発表会になりました。



